

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

イチゴ育苗床におけるハダニ類の防除対策(技術情報第5号)について(送付)  
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、防除指導の参考としてご活用下さい。  
記

今作は、平年に比べハダニ類の発生が多くなっていますので、育苗床を確認し、発生が見られる場合は早期に防除を行いましょう。

## 1 発生状況

5月に県下のイチゴ育苗床の親株で実施した巡回調査では、ハダニ類の寄生株率が29.0%(平年7.7%)で平年比多の発生であった(図1)。

福岡管区気象台が5月28日に発表した九州北部地方1か月予報によると、気温は平年より高い予想でありイチゴ育苗床における本虫発生に好適な条件が続くと考えられるため注意が必要である。

## 2 防除対策

### (1) 薬剤防除

1) 早期発見、初期防除を徹底する。

また、本ほでの発生は主に寄生苗の持ち込みによって起こるので、育苗期の防除を徹底する。

2) 有効な殺ダニ剤を本ほ期に温存するため、育苗期には気門封鎖剤を積極的に使用する。

また、同一系統の薬剤を連用すると、薬剤感受性が低下するので、系統の異なった薬剤を組み合わせ、ローテーション散布を実施する。

### (2) 耕種的防除

1) 育苗床周辺の雑草は発生源となるので、除草を徹底する。

2) 発生初期の下葉の除去はハダニ防除に有効である。

また、除いた下葉はポリ袋などに詰め育苗床外に持ち出して処分する。

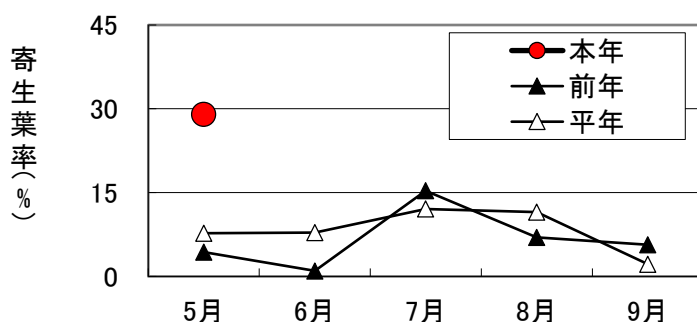


図1 ハダニ類寄生葉率の推移  
(イチゴ 5月:親株、6月~:育苗ほ)

熊本県病害虫防除所  
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所  
病害虫研究室 予察指導係)  
担当: 丹、中村 TEL 096-248-6490